

馨 提 樹

平成30年 5月号 5月16日 発行

かわいい子にはタビを

教頭 若林 光

「かわいい子には旅をさせよ」ということわざがあります。平成が始まった頃は子供が一人で交通機関を使って遠くの親戚まで行くことがはやりました。豊かな家庭では海外のホームステイなども盛んになった頃でした。振り返って現在は、子供が一人で行動すると安全が脅かされることもある時代。そう簡単には旅に出せません。また、車掌さんが切符を切りながら親切に教えてくれるという場面も減りました。

最近、「子供を育てる」という面で見直していることがあります。放送委員や日直当番などで職員室に毎日来る子の態度がみるみる成長していくのです。はじめは少しおどおどしていますがすぐに言葉遣いがうまくなり、堂々としてきます。大人との「ふれあい」の機会が増えたことで子供は多くのことを学ぶのです。人と話す、お願いする、交渉するという機会は、そのタビごとに子供の力を伸ばしていると感じます。

昔は子供にも「おつかい」「留守番」「電話番」など小さな家の仕事が結構ありました。私の実家は板金屋、金物屋もやっていましたが父や祖父は現場が多く、店番がよく回ってきました。「この2インチ半の釘200匁(め)くれ」「この番線9寸で100本カットして」など、お客さんからのリクエストは学校で習わない単位が飛び交い、単位への興味が鍛えられたものでした。未経験なことを少し勇気を出してやり遂げる、これは子供にとっては大きな自信になります。学校のおたよりによく「家の手伝いをしましょう」とありますが、これも子供に力を付ける強力な「学習」なのだと思つづく思います。

学校では今年、登下校や友達の家に行くときなど、知っている人だけでなく、作業などで外に出られる地域の方にも自分からあいさつをするよう、重ねて指導しています。子供は、少し緊張する小さな体験を繰り返すことで素晴らしく成長します。ぜひ、保護者や地域の皆様も子供が自分からあいさつするタイミングを意識して設けてくださり、子供がそのタビごとに心地良い満足感が得られるよう見守ってください。

さて、その平成初め頃、シンガポールの貧しい小学生の暮らしが紹介されていました。朝は母親とマレー語で話し、学校の授業は英語で。家計を助けるアルバイトをするには華僑が経営する店の広東語を話さないといけません。小学生時代からとんでもない「関わり体験量」です。それから30年、10倍近くあったシンガポールと日本の平均年収の差はほとんど差がないほどに縮まっています。「人と関わる」ことがいかに大切かを物語っているように思います。やってみて体に「できる」と覚えさせてこそ力なのです。

ある統計によれば学習満足度が最高に高い授業は「助けを借りながら、自分で1ランク上に上がったと感じる授業」。学習の定着度が最高に高い(忘れない)のは「わからない人に教えてあげた」場面だとか。考える、話す、書く、そして関わる場面がバランスよく盛り込まれないと学習は「その後」につながらないのです。わかりやすい例が理科で、小学校でフラスコだアルコールランプだとあれこれと実験に手を出す子と、静かにノートに記録をとるだけの子では中学校以降に「理科、得意だよ」という割合が明確に違ってきます。どちらがその後の伸びが良いかはわかりでしょう。

子供の力を考えるとき、「自分の力で」「言葉や行動で何とかやり遂げ」「満足」を繰り返すことが本当に大切です。お手伝いもさせ方によっては計算・漢字100問分のビタミン。そう思って実践するのも一考です。本校の子供たちはリーダーをする、司会をする、元気に歌う、よく食べて元気に外に出る等の面で優秀。素質はなかなかだと思えます。アクティブに根気強く学べるいろんな「タビ」を設定して伸ばしていきたいと思えます。どうぞご支援をお願いします。



元気いっぱい1年生

1年担任（生徒指導主事）笹島 百合子

1年生が入学して、もう1か月。36名の子供たちも少しずつ学校生活に慣れてきています。元気よく大きな声で返事ができ、初めての学習にも一生懸命取り組もうとする子供たちです。休み時間には早速、上級生に混じって元気いっぱい遊んでいます。

2年生からは、毎朝、校歌や運動会の歌を教えてもらい、1年生も大きな声で歌えるようになってきました。登下校の時には、上級生が1年生を連れにきてくれたり、速さを加減して歩いたりしてくれています。様々な場面で、1年生を気遣い世話をしてくれている姿を見ると、上級生の成長も感じることができます。

1年生に「今がんばっていることは」と尋ねると「自分で歩いて学校に来ること」「勉強すること」「学校を休まないこと」だそうです。楽しいことは「運動会の練習」「友達やお兄さん・お姉さんと遊ぶこと」でした。1年生にとって、小学校生活が始まったことは大変なことなのでしょうが、結構、楽しみながらがんばっていることがわかります。

連休明けから、19日（土）の運動会に向けて、疾走、団体競技、応援などの練習も始まり、全開で取り組んでいます。練習を通して、集団行動の仕方、友達との協力が進むのも大きな収穫です。様々な行事を通してさらに成長してくれる子供たちだと思います。学習や活動に関心や意欲をもち、毎日、目を輝かせて取り組む「友達大好き、学校大好き」な1年生でした。



ぷち学校ニュース

やくそく7 根気強く取り組もう

今年の学校の合い言葉は「根気強く」です。目当てをもって積み重ねていく力の大きさを子供が体感してほしいと願っています。特に、1番にあるとおり、自分からあいさつする態度の育成を目指します。また6、7番に関係しますが学校での学習準備や学習規律についても「これまで」に流されることなくしっかり身に付けさせたいと思います。学校だけでなく、家でも「毎日」「決まった場所で」「一定の時間」学習する習慣を身に付けさせたいと考えています。下学年は音読や九九、読書など、家の方にご支援をいただく場面も増えるかもしれませんがどうぞご理解とご協力をお願いします。

1 あいさつは自分から大きな声でいいます。
朝と帰り、給食授業前と終わり

2 ろうか（ろうか）は静かに右側を歩きます。

3 使ったもの（もの）のあとしまつをきちんとします。

4 はんそでの体（からだ）そうふくはズボンの中に入れます。

5 へんじ（へんじ）ははっきり「はいっ」とします。

6 はじまりの時間（じかん）には席（せき）について勉強（べんけん）の準備（じゆんび）をしています。

7 話（わ）をおわりまでしっかりとききます。

できるよね 東五位っ子のやくそく7

ようこそ1年生

4月26日、「1年生入学おめでとう集会」が行われました。児童会が中心となり、寸劇や入退場の演奏、体育館の飾り、プレゼントなどそれぞれを学年が分担し、1年生を招待しました。集会の最後には、1年生からのお礼の言葉に続き、覚え立ての「校歌」の披露があり、元気だけでなく伸びの良い声にみんな感心していました。

運動会に向けての練習が活気付いてきました。1年生の元気な声は貴重な音源ですね。

